

////////////////////

(H26)

第29号

ねがい

////////////////////

平成26年8月1日

社会福祉法人秋田育明会

■ 竹生寮家族会

■ 柳田新生寮保護者会

合同発行

ホームページ

<http://www.ikumei.or.jp>

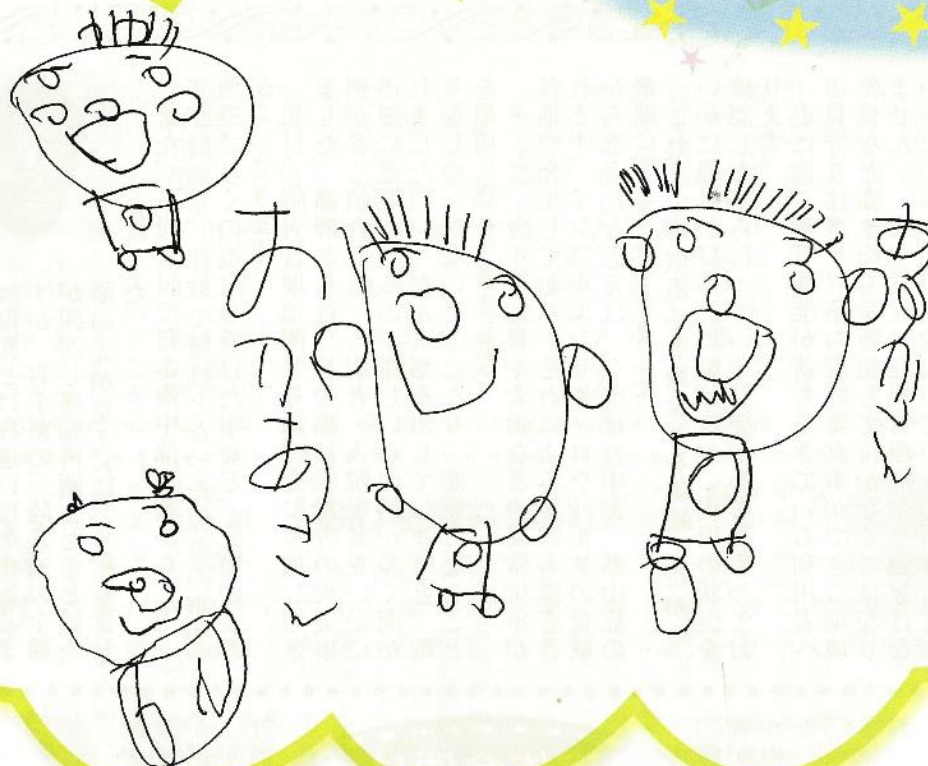
秋田市柳田字竹生168

電話 竹 生 寮 018(834)2577

柳田新生寮 018(835)3371

暑中お見舞い

申し上げます



願

文・母 渡辺美和子

絵 渡辺明日香

卒業前の施設入所説明会で柳田新生寮さんを知りました。その時から、明日香を入所させるのは、新生寮さんと決めていました。今年の三月に入所出来ると連絡があり、本当嬉しかったです。三月に入所して、初めて家に帰ってきた時には、当番をさせてもらっている嬉しそうに話してくれました。

最近「大人だから」が決め台詞です。私の願いが通じました。色々な体験をこれから出来ればいいなあと思います。これからも宜しくお願い致します。

愛護福祉受賞

6月12日に開催されました日本知的障害者福祉協会全国知的障害者施設長等会議におきまして、社会福祉法人秋田育明会の三浦憲一理事長が、本年度の「愛護福祉賞」を受賞いたしました。



この賞は、知的障害福祉にかかる活動と福祉協会関係における活動の功績に対して頂いたものです。昭和39年、無認可の時代から知的障害児に関わり、秋田県の福利厚生事業を担い、民間社会福祉事業の進展に寄与され、障害者の充実した生活を願う障害者のために50年近く尽くしております。また、親たちの願いである「一生働きながら暮らせる共同の場作り」の理念実現に積極的に取り組むなど多くの功績を残しております。

更に、平成10年に秋田県知的障害者福祉協会の会長に就任し、以来15年間にわたり各種関係機関・団体の役職を歴任する一方、東北地区知的障害者福祉協会の会長ならびに日本知的障害者福祉協会の評議員、理事の要職にあつて、福祉協会組織において指導的役割を果たし、また、第44回全国知的障害福祉関係職員大会秋田大会の実行委員長としてその重責を果たすなど、日本知的障害者福祉協会及び、地区会・地方会の充実・発展に寄与しております。

このような賞を当法人の理事長が受賞された事は、育明会全体にとっても大変光栄な事です。

おめでとうございます。



平成26年度にあたって

竹生寮寮長 平川 英勝



あの東日本大震災から三年が経過し、まだまだ福島県などでは復興とは程遠い現実がありますが、岩手県の三陸鉄道の全線が開通し運転再開したことは一筋の光が見えた感じがしました。

また、5月26日で日本海中部地震から三十一年が経過し、津波で犠牲となった児童の事や、地震で多くの被害を受けた事など、記憶がよみがえってきます。

先日、防火管理に関する講習会に参加してきました。講師からは、社会福祉施設等の火災事例が多く紹介され、入所者・入院患者をいかに迅速に避難させるのが難しい話が多く聞かれました。いったん火事を出してしまうと、取り返しのつかないことになり、悲惨になることを痛切に感じてきました。

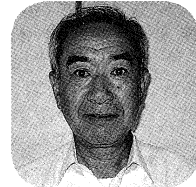
そして、今年も猛暑や大雨などの異常気象が各地で発生しており、それによる災害も懸念されます。インフルエンザやノロウイルスの脅威から逃れたと思えば、今度は食中毒、熱中症の脅威にさらされてきました。

これまでの取組や計画などを継続しながら、いかに職員が具体的に動けるか、現場の状況を確認しながら行っていく必要があると思っております。

更には、嚙下機能が落ちてきている利用者への見守り注意や、落ち着いて食事ができる環境整備など衛生面も重要視して行かなくてはなりません。安全管理・危機管理にやり過ぎはないと思いますが、高齢化している利用者皆さんの安全と安心な生活が継続できるよう配慮して、家族会の皆様からの協力を得ながら、環境整備を進め、利用者の健康維持管理も併せて、個別支援計画の内容をリンクさせていけるよう、重要な課題としてとらえ、事業を進めております。

竹生寮家族会

会長 中村 繁喜



初夏の候、皆様におかれましてはご健勝のことと存じます。日頃から当家族会の運営に対して、ご理解・ご協力を賜り厚く感謝申し上げます。過日、竹生寮家族会総

会が施設内ばれつとハウスで行われました。議長に例年と同様荒川隆さんを選出し全議案が満場一致で可決されました。平成26年度家族会助成協力基金による事業計画案について

家族会便り

「平成26年度家族会助成協力基金による事業計画について」

○利用者の思い・家族の願いである生活の場が安心・安全に過ごせるようにと進めてきた事業も当初予定していた男子・女子の風呂場の改修を残してほぼ完了したこと
○年々利用者の高齢化・重度化の課題解決に向けて検討する必要があること
特別会計からの環境整備事業について

○職員の皆様より検討して頂いた結果、利用者が楽しみながら食事が出来る様にとテーブルの購入を120万を限度として実施すること

○役員改選があり、引き続き現体制で二年間お互い頑張っていく事を誓い合いました。

○毎年行われていた「ふれあいパーティー」は時期が3月から11月に変更になります。お楽しみに！



平成26年度 苦情相談受付

第三者委員に 鎌田氏選任

今年度第三者委員会には、鎌田氏が選任されました。竹生寮では、佐々木(留)、畠山、菅原、小玉の4名が、柳田新生寮では、田中(清)、進藤、戸松、佐々木(広)の4名が受付窓口となります。

平成25年度の相談受付件数は、竹生寮が30件で、柳田新生寮が11件でした。内容としては、利用者さんご家族からの要望が多く、それぞれの意見を聞きながら、解決に繋がっていました。



鎌田重憲氏
城東中学校
教育後援会
顧問、青柳
会会長歴任。



CH GHの一元化

柳田新生寮寮長 伊藤 良之



法改正により平成26年4月1日より共同生活を行う住居でのケア

がより柔軟にできるよう、共同生活介護(CH)を共同生活援助(GH)に統合し一元化となりました。地域で生活を営んでいる利用者の高齢化・重度化が進むことを背景に、介護の必要がある人もない人も一緒に受入れることができるようになりました。

秋田育明会ではこれまでケアホーム雪やなぎとグループホームささこやまの2つの類型の事業所指定を受けておりましたが、4月からはグループホーム事業という一つの事業形態となりました。

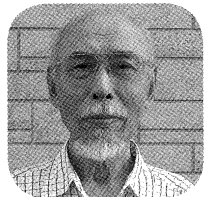
一元化後のグループホームで提供する支援は①グループホーム事業者が自ら行う「介護サービス包括型」で介護が必要な人に日中及び夜間に法人職員である介護スタッフ(世話人・生活支援員)を配置する旧ケアホームの形態。

②グループホーム事業者はその運営のみを行い、介護ヘルパーや食事提供等のサービスを世話人として外部に業務委託して配置(夜間は不在)する「外部サービス利用型」旧グループホームの形態の2階建て構造となっています。とは言え、法の中身が少々変わりケアホームと言う名称が消えただけで、利用者の皆さんの生活様式は全く変わっておりません。今まで同様楽しい日々を送っております。

雪やなぎは定員が男性5名で1名が特養老人ホームに就労しています。ささこやまは定員が男性6名女性4名で男女合わせて6名が秋田市内の民間会社に就労しています。利用者の中には年齢が50代60代の方もおり先のことを心配する声も聞こえてきました。今回の一元化により、その不安も少々払拭されたところと安堵しているところです。

注 CH ケアホーム
GH グループホーム

「初心を忘れない」



柳田新生寮保護者会会長 中津川正次郎

戦後70年経った今、日米戦争があつたことを知らない人が少なくないという。ふと柳田新生寮開設のこともあるいはそのかも知れないと考え、改めてそのことを、ことに若い新しい保護者達に伝えたいと思つて書いて見たい。

障害児を抱えた親達、特に母親達が、不安と絶望をはねのけて「この子等の終の住み処を作ろう!」と立ち上がり、地元柳田の人達の支援の下に「学校の古材からの建設」をはじめたことが、今日の出発点であつた。

昭和45年4月、12名の子供達を見守る悲願の財団法人が開設された。44年前のことである。以降、昭和46年5月、社会福祉法人認可、知的障害者更生施設「竹生寮」開設と続き、

戦後70年経った今、日米戦争があつたことを知らない人が少なくないという。ふと柳田新生寮開設のこともあるいはそのかも知れないと考え、改めてそのことを、ことに若い新しい保護者達に伝えたいと思つて書いて見たい。

この間、福祉制度は措置から契約へと移り、今日障害者総合支援法に替わつていくが、私達がめざして来た「親と子の安心の実現」は未だ道遠である。一方、保護者と子供達(利用者)も急速な高齢化の最中にあり、それだけに、私達は福祉の現状打開に向つて活力ある取り組みが出来るかが問われていると思ふ。

因みに、開設当初からの入所者数は50名中男子12名、女子13名と半減し、保護者も入替わつていく。また、登録保護者は父親18名だが、実際は母親やその他の人達が役割を担っている。これらの状況を見ると、開設時の保護者会の一体感と共同体制を直ちに求めることは無理と判断せざるを得ないが、新しい力も参加しつつあり、これらの力が中核に、会の若々しい活動が実現するように努力しなければならぬ。



10年余の後の昭和57年4月、柳田新生寮が開設された(定員50名と

新年度の役員会は新しい3人の仲間の参加で発足した。歴史は単なる記憶や事実としての過去ではない。未来を指し示す教訓であり指針である。「この子等の終の住み処を作ろう!」。初心を忘れずに。



バス遊覧

今年から体育祭にかわり竹生寮では、バス遊覧となりました。午前と午後で別れて、秋田マリーナ・天王グリーンランドへドライブに行ってきました。マックシェイク・スイートポテト・たい焼き・缶コーヒーなど頂きながら、皆さんとても楽しんでいました。



新生寮のふれあい日

7月3日、ふるさと村に行ってきました。家族と一緒にのお食事や喫茶に皆さん楽しそうにくつろいでいました。

竹生寮 7月23日



夕涼み会

柳田新生寮 7月24日



ビアガーデン



軽男寮のドライブ



竹生寮の軽作業男子班の春のピクニック

5月1日、大瀧村に出かけて来ました。みごとな満開の桜でした。もちろん、花よりだんご缶コーヒーも格別でした



軽作業女子班のお買い物

ホームック広面北店で、日用品の買い出しのお手伝い。工藤美香さん(左)と中嶋祥子さん(右)の二人がカートを押して頑張りました。



スポーツ交流会

7月8日、県立体育館で県内22箇所の施設利用者が集いゲームを楽しみました。



年度終了会

柳田新生寮



竹生寮



平成25年度を締めくくる年度終了会は、各施設で昼食の時間に行われました。御馳走を頂きながら各班ごとに新年度の抱負を発表しました。異動の職員や退職者とのお別れ会ともなりました。

ふれあいパーティ

竹生寮



久々の再会でですね

柳田新生寮



竹生寮ふれあいパーティー

親子ゲーム
ロールバーを早く
巻き終えた方が勝ち!



ほっとなひととき



柳田新生寮のふれあいパーティは、2月27日、竹生寮は、3月4日、それぞれホテルメトロポリタン秋田でなごやかに行われました。

ほっとなひととき



梵天

三吉神社で1月17日に育明会の梵天を奉納し、「無病息災」「交通安全」を祈願してきました。



節分

年男の板橋真さん(左)と幸坂亘さん(右)が「鬼は外、福は内」と元気に寮内を豆まきました。

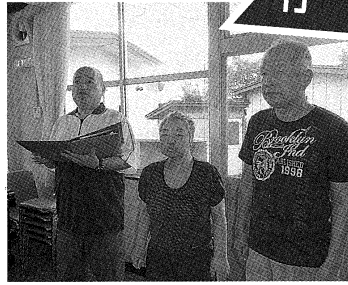


製品加工女子班の小旅行

1月20日卸町にある「天然温泉こまち」に行ってきました。お芝居と温泉とお食事をして、ゆったりとした時間を楽しんで来ました。

竹生寮

あおぞら会通信



平成26年度 新役員

会長	板橋 貢さん
副会長	石岡美智也さん
副会長	村野 成子さん
監査	加藤 良子さん
会計	熊谷 芳紀さん
会計	原田 博明さん

今年度の動きとしては？ ～あおぞら会活動報告～



あおぞら会の今年度の活動としては、今まで行っていた誕生者の会食の代わりに、毎月のおおぞら会にて、その月の誕生者の方にプレゼントを贈らせて頂きます。また、毎年行っているペットボトルのキャップ集めも継続して行っていきたくと考えております。地域への社会貢献として、町内のクリーンアップ活動を計画しています。



昨年度は、悲しいお別れや出会いがたくさんあった1年でした。今年度も、明るく楽しく寮生活を送って頂けるように、色々な意見を取り入れて活動していきたいと思っております。

竹生寮介護支援係長 田中 学

柳田新生寮

自治会和(なごやか)会通信



会長	川辺光太郎さん
副会長	中津 鉄春さん
副会長	佐藤みゆきさん
会計	石塚リツ子さん
監査	中村 裕子さん
監査	船木 明彦さん

私たちが和会を盛り上げていきます！



平成26年度の自治会役員紹介です。

利用者の皆さんからの立候補や推薦により、6名の役員が決定しました。会長の川辺光太郎さんは、沢山の支持で昨年に引き続き会長を行う事になりました。

また、6月12日～13日に利用者さんの希望を元に、自治会の役員で計画し、一泊二日で盛岡へ旅行に行きました。

1日目は鶯宿温泉へ行き、宴会やカラオケを楽しんできました。

2日目は小岩井農場の見学でしたが、当日心配されていた天気も皆さんの思いが届



き、見学中は暗れていました。皆さん、寮に帰って来てからも思い出話を話していたりと楽しい旅行のようでした。

年に1度、自分の誕生日に行く事が出来る誕生者会食は食べたい物を選択できるので皆さん楽しみにしている様です。焼肉や寿司など年に1度の特別な会食を楽しんでいます。

今年度の自治会を6人で盛り上げていきますので宜しくお願いします。

社会福祉活動 ～皆で町内をきれいに～



7月2日天候に恵まれ晴天の中、竹生寮と柳田新生寮の利用者の皆さんと職員合同で町内清掃を行いました。各班で清掃区域を分けて、町内の道路や熊谷農機周辺や火結神社に落ちているゴミや溜まった落ち葉を集めました。

気温が高い中でも利用者の皆さんはテキパキとゴミを集め短時間で清掃する事が出来ました。特に佐藤滋郎さんは集めた多量の葉を一気に運び柳田新生寮の女子利用者さん達は道路を往復し丁寧にゴミを拾っていました。

これからも、柳田町内の一員として自分達の住む地域の社会奉仕という形でキレイに保つて行きたいと思います。



健康管理

パート(29)

看護師就任にあたって

竹生寮看護師

石井 昌子



日差しの強い日々が続きますが皆様はいかがお過ごしでしょうか。

私は、工藤トモ子さんが3月に退職され、そのあとを引き継ぎました石井昌子です。

私が入職し、早くも半年が過ぎようとしています。

私は、介護職を経験後働きたながら5年かけ看護師の資格を習得しました。病院での経験は、多少ありますが施設勤務は初めてで戸惑うこともあります。しかし、各職域の方の協力を得ながら毎日業務を遂行しています。

職場にも慣れ、利用者の方の名前も大部覚ええました。毎日、利用者の方に声

を掛けて頂き、とても嬉しく思います。なかなか利用者の方とゆつくりコミュニケーションを図ることが出来ませんが、いつでも保健室に顔を出してもらえよう環境作り、そして利用者の方の健康管理に努めて行きたいと思えます。

また、この場をお借りしてご報告いたしますが、今まで嘱託医であった遠山医院の遠山先生がこの3月に退職され4月よりミチヒロ内科クリニックの湯川道弘先生が嘱託医となられました。秋田市広面に2年前の10月開業され活躍されております。

利用者の方の全般的健康管理をして頂き、健康診断での早期診断・治療そして、消化器等の検査も行って下さいます。とても丁寧で分かりやすく説明してくれま

す。現在は、月2回竹生寮へ訪問して頂き、利用者の方の健診もしていただいております。最近では、新聞やテレビ等でもインフルエンザに警戒するよう耳にします。温度調整が上手く行かず風邪をひいてしまうこともあります。皆さんが健康で楽しく生活できるように援助していきたいと思いま

新規利用者紹介



平元 寿子さん
平成26年5月21日入所
竹生寮 製品加工女子班

手芸が大好きな活動的で元気な方です。歌も上手で時々披露してくれま。また作業に積極的に参加してくれています。よろしくお願ひします。



渡辺明日香さん
平成26年3月13日
柳田新生寮 実習班

明るくひとなつっこさですぐに利用者さんと仲良くなり寮の生活にも慣れてきました。作業や当番の仕事にも意欲満々で取り組んでいます。また、踊りも大好きでアイドルの曲に合わせて汗をかきながら体を動かしています。



永井大地さん
平成26年4月1日
ふきのとう

大地さんは、栗田養護学校を卒業し、4月からふきのとうを利用しています。絵を描くことや文章を書くことが得意です。ふきのとうでは、主に箱作りの作業を行っています。バスが好きて送迎の車の中から景色を見るのも好きです。これからよろしくお願ひします！

利用者異動

平成26年6月1日
グループホームみんなのいえから柳田新生寮へ
神田 育子さん

退寮者



赤川幸作さん
平成26年
4月25日退寮

赤川さんの担当職員となり「担当の菅原です、宜しくお願ひします。」と挨拶した時、赤川さんは「ダメだ」と顔を背けてしまいとでもシヨックに思いました。その日から毎日いろんな話を徐々にお互い打ち解け始めて笑顔を見せました。陽気で明るく優しい性格で行事や旅行などでは、豪快にビールを飲み、笑っていたのが印象的で、周りの雰囲気も和やかにしてくれ、軽体調を崩し入院して、秋田病院へ転院する事になり退所となりました。

竹生寮介護支援主任 菅原美雪



船木義方さん
平成26年
4月30日退寮

船木義方さんは平成18年より竹生寮を利用しています。若竹学園を児童の頃利用して入所して直ぐに打ち解けていました。歌が上手でカラオケや旅行の際には「高校3年生」を熱唱しすぎてマイクを離さない事もありました。酒間屋に就職した事があり、夜勤員と若頃一緒に働いた思い出を語ってくれました。几帳面で服やサンダルを揃えたり、中庭に夏草が伸びた時はレイキを使い器用に草を集めてお、達者だねと話かけると「上手だろ」と得意気に笑っていたのが印象的でした。最近体調を崩し入院していましたが復帰が難しく、この度残念ながら退所となりました。

竹生寮介護支援係長 上松 誠

ありがとうございます



平成26年2月に㈱ツルハホールディングス様、クラシエホールディング様より柳田新生寮に車椅子を1台頂きました。大切に使用させて頂きました。ありがとうございます。

日本財団より

平成26年3月5日に日本財団からの助成金により、新しくキヤラバンが1台納車されました。現在はふきのとうの送迎に活躍しています。車イスを4台乗せる事が出来る様にな

り、より活躍の幅が広がりました。助成ありがとうございました。ご協力ありがとうございました。



乗り降りもステップがあって安全になりました

行事予定

月	日(曜日)	行事名	主な内容	備考	月	日(曜日)	行事名	主な内容	備考
8月	12日(火)~15日(金)	盆中帰省	家庭での生活を通じて家族の絆を深め、社会生活を体験する。		10月	18日(木)	ドキドキチャレンジ	参加者相互のコミュニケーションを図ると共に余暇活動や、生活技術の習得に結びつける。	相談支援事業
	20日(火)雨天時21日(水)	納涼祭	夜店・輪踊り・花火等を行い家族、地域の人々と一緒に夏の一夜を過ごす。	地域合同行事		21日(火)~22日(水)	小旅行	両施設の農産班でわらび座へ一泊旅行を行ない利用者同士の親睦を図る。	柳田新生寮 柳竹農産班合同
9月	11日(水)	日帰り旅行	一年の労をねぎらい、家湯方面に日帰り旅行を行い、利用者・職員の親睦を図る。	軽作業科 男子	11月	中旬	秋の楽しみ会	市内のデパート等で買物や食事をし、マナー等を学ぶ。	軽作業科 女子
	17日(水)	日帰り旅行	一年の労をねぎらい、日帰り旅行を行い、利用者・職員の親睦を図る。	製菓女子 女子		23日(水)	日帰り小旅行	こまち温泉で慰労を兼ねて行う。	柳田新生寮 女子
	18日(木)	日帰り旅行	一年の労をねぎらい、西巨方面に日帰り旅行を行い、利用者・職員の親睦を図る。	軽作業班 女子	4日(火)	忘年会	一年の労をねぎらい、会食を通じ交流を図る。	環境班合同	
	18日(木)	小旅行	一年間の労をねぎら、小グループで一泊旅行を行なう。	製菓加工班 男子	6日(水)	日帰り小旅行	さくら温泉で慰労を兼ねて行う。	柳田新生寮 女子	
	20日(土)	わいわいピクニック	フェアライト科学子ども館にピクニックに行く。行事を通して利用者・者、保護者、スタッフ間のコミュニケーションを図ると共に社会体験、余暇活動に結びつける。	相談支援事業	20日(水)	ふれあいパーティー	利用者、保護者と共に市内のホテルを利用し、食事やゲームで楽しく過ごす。	柳田新生寮 柳田家族利用者	
中旬	秋のレクリエーション	公共施設を利用し、環境の変化に適應できるように楽しい一時を過ごす。	柳田新生寮 男子	27日(水)	ふれあいパーティー	社会参加の一環として会食マナーを身につけ、利用者・家族・職員の親睦を図る。	柳田新生寮 柳田家族利用者		
10月	4日(土)	育明祭	アトラクションや各種催し物を行い、家族との交流を通じ、秋の一日を楽しく過ごす。	合同行事	6日(土)	ニコニコ楽しみ会	一年間の締めくくりの会を通じ、相互のコミュニケーションを図る。	相談支援事業	
	9日(火)~10日(水)	小旅行	両施設の園芸班で宮城・作並方面へ一泊旅行を行い利用者同士の親睦を図る。	柳田新生寮 柳竹園芸班合同	中旬	柳田福祉会	地域の方々との親睦を図ることを目的に開催する。	地域合同	
	15日(火)~16日(水)	小旅行	一年間の労をねぎらい、環境班と林産班合同で岩手・網走方面に旅行に行く。	環境班合同 柳田新生寮 柳竹園芸班合同	25日(水)	クリスマス	クリスマスの飾り付けを行い、クリスマスらしい雰囲気の中で料理を頂き楽しむ。	全体行事	
					1月5日(月)	正月帰省	家庭での生活を通じて家族の絆を深め、社会生活を体験する。		



編集サロン

夏といえれば、花火や海水浴等ウキウキする事が沢山ありますね。この時期を楽しく過ごす為には体調管理が不可欠です。こまめな水分補給で暑さに負けず、楽しい夏を過ごしましょうよ。☺
(米澤・進藤・小玉・鷺倉)

新規採用

- *石井 昌子 (竹生寮)
いよいよ夏本番の暑さになります。熱中症対策を含め健康管理に努めて行きたいです。
- *近江 将央 (竹生寮)
経験や知識等、未熟ではありますがありますが、頑張っていこうと思います。
- *大滝 美里 (竹生寮)
少しでも早く慣れるよう頑張ります。宜しくお願いします。
- *菊池由香利 (竹生寮)
11年ぶりに秋田へ戻り、再び勤務させて頂く事になりました。お願い致します。
- *見田 亮平 (柳田新生寮)
施設も調理業務も全く初めてです。右も左もわかりませんが宜しくお願いします。
- *佐々木 修 (ふきのとう)
久々に地元に戻って参りました。まだ仕事に不慣れな点が多いですが宜しくお願い致します。
- *佐藤 武弥 (柳田新生寮)
4月から勤務しています。初心を忘れず頑張ります。
- *下坂 悠衣 (柳田新生寮)
明るく元気に頑張ります。宜しくお願いします。

異動

竹生寮から柳田新生寮へ
介護支援員 鷺谷 幸

退職

工藤トモ子 (竹生寮) 31
小森まゆみ (柳田新生寮) 31
佐藤 陽子 (柳田新生寮) 30
II 26 7 31
お疲れさまでした。

善意深謝

(順不同 敬称略)

一、赤川幸作さんのご家族
一、(株)ツルハホールディングス・クラシエホールディングス(株)
(平 26年1月1日~7月31日)

おくりやみ

○平成26年2月9日
澤田石ツヤ 様
(澤田石勇孝さん義妹)

○平成26年3月14日
小玉 睦子 様
(山崎 淑子さん 妹)

生前のご厚情を深謝し、謹んでおくりやみ申し上げます。